

2006/6

創刊号



医療法人 成精会

刈谷病院

Harmo-net ハモネット

明日に向けて

院長 李 振雨



刈谷病院は昭和38年に初代院長中野啓次郎によって現在の地に開設しました。当初は病床数75床でのスタートでしたが、その後次第に増床し、昭和59年に276床になり、精神科の病院としては中規模の病院として運営してきました。

平成元年に医療法人となり、成精会刈谷病院として新たなスタートを切りましたが、それと同時に現在、理事長である芳賀幸彦の下で地域医療に力を入れた病院作りが進めてまいりました。平成4年にデイケアの認可を受けましたが、その後平成12年にリハビリセンター「コンチェルト」を開設し、デイケアと作業療法にいっそうの充実を図りました。そして平成13年にはグループホーム「ブルースカイ」の認可を受け、その後更に2つの共同住居を開きました。また平成16年にサテライトクリニックとして西尾市に「こころのクリニック西尾」を開設しましたが、ここにはデイケアも併設しました。また平成7年に開設した訪問看護センターを発展させて、平成17年に「訪問看護ステーションH.E.J.」を開設しました。ちなみに、病院そのものは平成11年に病棟を改築した際、病床数を少し減らし、現在は5病棟、258床で運営しています。

以上述べてきたように、これまで刈谷病院は入院医療中心主義ではなく、外来重視、地域医療の発展を目標にやってきました。そういう中で、平成15年に地域医療推進のための通称「プースター委員会」を立ち上げ、まず患者さんのニーズを知るためアンケート調査をおこない、それを受けて平成16年2月にシンポジウム「精神障害者が夢をもって暮らせるまちづくり」を開催しました。そして今年4月に障害者自立支援法が施行されるのをうけて、この2月に第2回シンポジウム「働きたいを応援したい」を開催しましたが、幸い、両方も盛況のうちに終わることができました。また、病院が地域により受け入れられることを目指して昨年5月に第1回病院祭「あったかハートまつり」を開きましたが、地元の方のたくさんの参加があり、好評をいただきました。そして今年6月に第2回「あったかハートまつり」を開催しました。

平成16年に厚生労働省から「精神科医療福祉の改革ビジョン」が発表され、精神科医療を「入院医療中心から地域生活中心」へと推し進めることがはっきり明示されましたが、今年の医療費の改定で見られるように、この提言に基づいて、精神科医療の改革が急ピッチに押し進められています。上で述べて来たように、刈谷病院としてはこれまで地域医療に熱心に取り組んできたつもりですが、それでもこの改革を乗り切るとは決して生易しいものではないと考えています。しかしそれにめげず、これからも地域医療に真面目に取り組んでいきたいと考えていますので、何とぞよろしくお願いいたします。

★ 刈谷病院沿革 ★

- 昭和 38年 11月 12日 刈谷病院開院
- 平成 元年 7月 1日 法人設立 (医療法人成精会 刈谷病院)
- 4年 8月 1日 精神科デイケア認可
- 5年 6月 1日 精神科作業療法認可
- 6年 6月 1日 薬剤管理指導認可
- 7年 4月 1日 訪問看護センター開設
- 8年 6月 1日 院内感染防止対策承認
- 10年 5月 1日 新看護、看護補助体系3:1+B加算届出承認
- 12年 2月 1日 精神療養病棟認可
- 12年 2月 1日 精神科急性期治療病棟認可
- 12年 4月 17日 リハビリセンター コンチェルト開設
- 12年 10月 1日 ナイトケア認可
- 13年 4月 1日 精神障害者社会復帰施設グループホーム「ブルースカイ」認可
- 13年 11月 6日 共同住居 ぬくぬくおおぐて 開設
- 13年 12月 15日 共同住居 ぬくぬくむかひやま 開設
- 14年 4月 1日 院外処方箋発行開始
- 16年 7月 2日 こころのクリニック西尾 開院
- 17年 10月 1日 成精会訪問看護ステーションH.E.J. 開設

刈谷病院

どんな病院？



当院の理念 「豊かな心、こまやかな関わり、最新の医療」

- ①患者さんに差別のない目、ゆとりのある態度で接すること
- ②患者さんに、患者さんの立場にたった思いやりのある態度で接すること
- ③従来の自分たちの治療に満足せず、常に新しい医療に目を向け、より良い治療を目指すこと

わたしたち医療者は幅広い豊かな心を持つていることが必要です。その上で患者さんと向かいあわないと、平常心を保つことができません。豊かな心が保たれると、余裕のある、こまやかな関わりが生まれてきます。しかし、こまやかな関わりだけで、良い医療ができるわけではありません。最新の医療情報、世界的な医療情報をすばやく取り入れて、最新の、最善の医療を行うことが、豊かな心、こまやかな関わりの上に求められています。

そして、方向性として、通院医療を重視して、障害があっても、夢を持って生活できるような地域医療を目指しています。具体的には、デイケア、ナイトケア、訪問看護、作業療法、グループホーム等いろいろ充実した内容を用意しております。

当院の基本方針

- ①病気と治療に対する十分な説明と了解のもとに医療を実践します
- ②精神科救急に積極的に取り組みます
- ③精神科リハビリテーションに積極的に取り組みます
- ④地域生活支援に積極的に取り組みます
- ⑤地域の医療機関、行政、福祉施設等との連携に積極的に取り組みます
- ⑥精神保健医療福祉についての啓蒙活動に積極的に取り組みます
- ⑦職員の研修と研鑽に積極的に取り組みます



△当院B棟全景△

受診案内

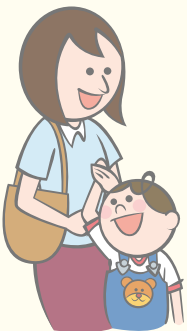
初診の場合

受付時間は9:00～11:00（土曜日〔隔週〕のみ9:00～11:00／13:00～15:00）となっております。また電話での予約も受け付けておりますのでご利用ください。保険証は受付時に提示下さい。紹介状お持ちの方も同様に受付時に提示下さい。

夜間外来の場合

水曜日17:00～19:00まで夜間外来を行っています。ただし、予約制のため、初診・予約外の方は診察を受けることが出来ませんのでご注意ください。なお、予約するには主治医にご相談下さい。

相談の場合



病気をもちながら生活を送る精神障害者や家族の経済的・社会的・心理的問題や将来の不安などお手伝いさせていただきます。地域の関連機関（保健所・市役所・保健センター・児童相談所・社会福祉協議会・民生委員など）と連絡・調整を行いながら生活の支援をさせていただきます。

カウンセリング

家族関係、夫婦関係、子育てに関する悩み、学校や職場でのストレス、人間関係についての悩み、自分の性格や行動、生き方についての悩み、など臨床心理士が、カウンセリング、遊戯療法、箱庭療法、精神分析的心理療法などを用いながら面接を行い、こころの問題に対する援助をしています。



「創造することは思い出すことに似ている」というのは、ある数学者が提唱した仮説だそうです。僕はこの名前を創りだすため、脳内に蓄えられた膨大な記憶の中から…ではなくって、電子辞書をでたらめに押し続け、ピンとくることばを探し求めました。そして出てきたのがハーモニー。意味は調和。うん、これがいい。こころの調和、こころとからだの調和、家族の調和、そして

地域の調和。でも、ハーモニーではどこかの商店街の喫茶店みたいです。

だったら、何でもネットワークの時代だし、ネットをくっつけちゃえ、と、安易な発想の力を借りて、でき上がったのが『ハーモネット』であります。けっしてハチミツとアーモンドのお菓子ハニーモンドではありません。(そんなお菓子は実在しません)

というわけで、違った声と声が調和して美しい歌になるように、広報誌が、さまざまな人の声を集め、つながり、ハーモニーを生み出すことを願ってつけた名前なのです。(臨床心理士 石黒直生)

病院駐車場について

年々受診する患者さんが増加し、現在では一日平均受診患者数が200名を超えています。受診患者さんの多くが車利用で、受診患者さんの増加に駐車場確保が追いついていないのが実情です。近隣に空き地がない、まとまった数の駐車場を貸してくれる大家さんがいないなどが主な理由ですが、受診する患者さんや家族、関係機関等の皆様にご迷惑をおかけしております。今後も駐車場確保に努力していきたく思いますので、どうぞよろしくお願い致します。

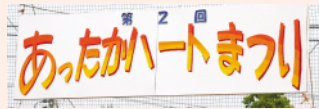
尚、駐車場利用の皆さんには、前向き駐車、駐車場内左回り(矢印走行)、車両別駐車のご遵守をお願いいたします。

(事務長 田中研一)

あったかハートまつりを終えて

6月3日に「第2回あったかハートまつり」が、刈谷市立住吉小学校と刈谷市立南中学校の大演奏を皮切りに開催されました。昨年同様、今回も盛大なお祭りが出来ましたことに皆様にお礼申し上げます。祭りの企画進行にあたりましては、ボランティア連合会をはじめ、トヨタ自動織機・デンソー・アイシンの企業ボランティア団体、民生委員、地区長、刈谷市役所・衣浦東部保健所・刈谷市立住吉小学校金管バンド部・刈谷市立南中学校音楽部の生徒さん達のご協力の賜と感謝いたします。

今回実行委員の1人として参加させていただき、祭りの準備にあたってはテンテコマイでしたが、祭りが年齢を問わず地域の方々が多く参加していただき、楽しまれている姿を目のあたりにすると嬉しさが込上げてきました。



ご協力、本当にありがとうございました。

(看護部 小椋茂子)

相談窓口・意見箱の設置について

当院では、数年前から委員会を作り病院近隣地域の住民の方も含めて、様々な苦情やトラブルへの対応を行ってきました。しかし、相談窓口を明確にして院内に掲示を行なうなどの院内、病院外の方へ積極的にお知らせするシステムがありませんでしたので、充分機能していなかったのではないかと考えられます。そこで昨年末から従来の委員会を見直し、「刈谷病院業務改善委員会」と改めました。この委員会では患者さんとそのご家族の方、地域の住民の方などからの相談や苦情、要望等を受け付けて病院全体で組織

的に対応できるように検討を行なっています。

相談や苦情等の受け付け窓口は事務受け付けに設置する予定です。入院中の方は病棟でも受け付けることが出来ます。そして相談や苦情の内容によって、専門の担当者が対応させて頂くこととなります。さらに、皆様からより多くのご意見を頂き、病院の医療サービス向上を目指して「意見箱」を外来待合室、ダイケアセンター、各病棟に設置することとし、準備を進めておりますので是非ご利用ください。また、昨年行なった外来患者さんや入院患者さんの満足度調査も定期的実施していく予定となっておりますのでご協力をお願いします。

(業務改善委員会 木落勇三)

編集後記

病院広報誌「ハーモネット」創刊号を無事発行することができました。

この広報誌は、地域の方や刈谷病院を利用されている多くの方々に、当院を知っていただく事を目的に当面年2回の発行を予定しています。広報委員が編集や話題収集に慣れれば、できるだけ早期に季刊発行が出来るようにしたいと思います。病院広報誌へのご意見・ご要望は、病院玄関に設置される意見箱に投函していただければ幸いです。

みなさんに末永く愛読していただけるようがんばってまいりますので、応援をよろしくお願いします。

(広報委員会 今川卓)

編集・発行



神経科・精神科
医療法人 成精会

刈谷病院

〒448-0851 愛知県刈谷市神田町2-30

TEL (0566)21-3511

FAX (0566)21-3536

http://www.kariya-hp.or.jp

携帯HP http://www.kariya-hp.or.jp/i/



●JR東海道線刈谷駅南口下車 徒歩10分

●名鉄三河線刈谷駅南口下車 徒歩10分